

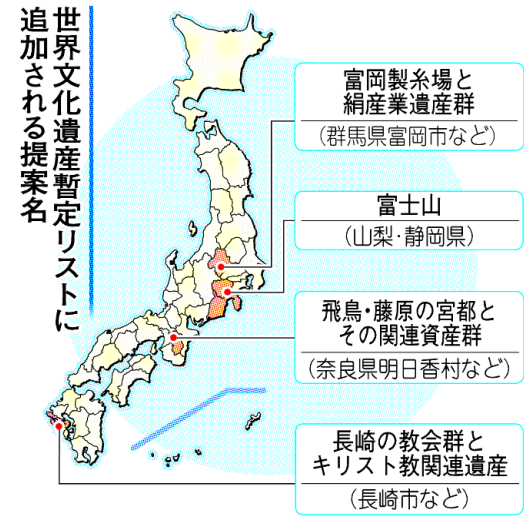
世界遺産暫定リスト

佐渡金銀山は継続審査

富士山など4件追加

文化庁は二十三日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出する世界文化遺産登録の国内候補の暫定リストに①富岡製糸場と絹産業遺産群（群馬県富岡市など）②富士山（山梨・静岡県）③飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群（奈良県明日香村など）④長崎の教会群とキリスト教関連遺産（長崎市）の四件を追加掲載することを決定。佐渡市と本県が提案していた佐渡金銀山と周辺遺跡は今回の追加には入らず、他の十九件とともに継続審査となった。

（関連記事2・27面に）



同庁は昨秋、自治体から登録提案を初めて公募。二十六県から二十四件が提案されており、同日の文化審議会文化財分科会で「現時点において普遍的価値を持つ可能性が高い」四件の追加掲載が了承された。

佐渡に関しては「人類が獲得したすべての鉱山技術の変遷を見える希少な資産」などと評価する一方で、「文化交流

に、ユネスコに追加掲載を申請する。六月のユネ

スコ世界遺産委員会で影響の観点からの再考が必要」と課題を提示。鉱山遺跡として、すでに石見リストがそのまま認められるのが通例。リストには現在国内から石見銀山のほか「彦根城」（滋賀）

スコ世界遺産委員会で影響の観点からの再考が必要」と課題を提示。鉱山遺跡として、すでに石見リストがそのまま認められるのが通例。リストには現在国内から石見銀山のほか「彦根城」（滋賀）

世界遺産 人類共通の遺産を人為的破壊などから守るため、1972年にユネスコで採択された世界遺産条約に基づき登録される。2006年7月現在、文化遺産644、自然遺産162、文化と自然の両方の価値を持つ複合遺産24の計830件が登録済み。日本の文化遺産は「姫路城」「原爆ドーム」など10件、自然遺産は「屋久島」「知床」など3件が登録済み。

世界遺産暫定リスト 世界遺産への登録を目指して各国が提出した候補を掲載したリスト。自然遺産も含めて1300件以上が掲載済みだ。登録前に遺産の価値を国際的に比較検証できるようにするのが目的で、本登録に移行するには政府があらためて推薦書をユネスコに提出し、審査を経て認められる必要がある。

選ばれなかった二十件については、提案を練り直し、来年以降の追加掲載を目指す。

推進室創設 再挑戦図る

泉田知事

佐渡金銀山が世界文化遺産登録の「暫定リスト」に追加掲載されなかった件について泉田裕彦知事は二十三日、「非常に残念であるが、今後文化庁の指導をいただき、提案書の内容を練り直し再チャレンジに向け取り組むたい。県として来年度、新たに推進室を立ち上げ体制強化を図る。世界遺産の前提条件となる国指定文化財を目指し、資産の評価を高めた」とのコメントを発表した。

など四件がすでに掲載されており、計八件となる。

今後政府は、暫定リストから毎年一件程度、本登録の推薦をし、同委員会の審査を経て登録の可否が決まる。佐渡金銀山など、今回